

広報 おおい

題字 作家 水上 勉

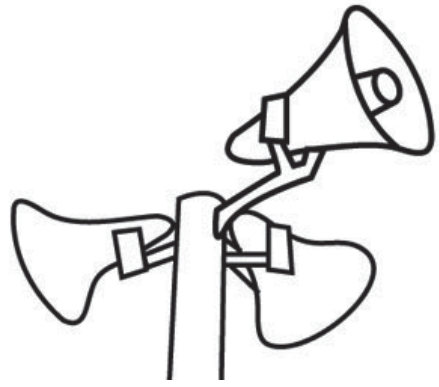


防災に
地域で取り組む
まちづくり

おおい町総合防災訓練
(関連記事 2～5 ページ)

7

Jul. 2014
No.99



災害に備える

台風や局地的豪雨などの災害から生命や財産を守り、被害を軽減するために必要な知識や技術を学ぶことを目的に、6月8日、あみーシャン大飯周辺で町総合防災訓練が行われました。



- 1 約30キログラムの土のうを200個作製
- 2 消防団員が堤防上面の越水を防止する「改良積み土のう工法」を実践
- 3 町職員が川側斜面の洗掘を防止する「シート張り工法」を実践

出動人員

- 町民
- 消防団員
- 赤十字奉仕団
- 消防職員
- 町職員
- 来賓 計248人

訓練想定

□ 6月6日深夜

断続的な降雨により、降り始めからの積算雨量が150ミリを超過。佐分利川本郷橋水位観測所で、水防団待機水位の1.9メートルを記録し、消防職団員、おい町赤十字奉仕団、町職員に待機命令と必要な場所への警戒命令を発令。

□ 6月8日早朝

時間雨量30ミリの降雨に見舞われ、同観測所で避難判断水位2.6メートルを越え、一部の地区で土砂災害が発生。

□ 6月8日午前8時30分

待機中の消防職団員、おい町赤十字奉仕団、町職員に出動命令を発令。

□ 6月8日午前9時30分

積算雨量が300ミリに達し、同観測所では氾濫危険水位3.1メートルを超過。堤防の決壊するおそれが高まったため、水防工法の実施を発令。

訓練のポイント

昨年、町の地域防災計画が改訂されたことともない、これまでの水防訓練から町総合防災訓練と変更し、参集訓練や自主防災組織と連携した避難訓練、防災行政無線や緊急速報メールによる避難広報を実施するなど、より実践的な訓練が行われました。



8



4



5

4 現地災害対策本部や救護所、避難所を開設

5 尾内区、山田区、本郷区内に防災行政無線や緊急速報メールにより避難勧告を発令

6 消防団積載車や役場公用車により、避難勧告地区での避難広報を実施

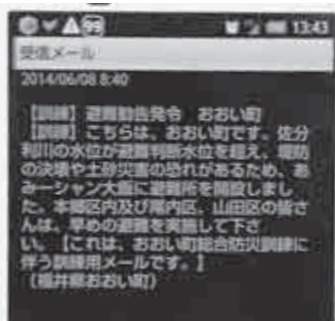
7 避難者受け入れ

8 要支援者の情報を受け、避難誘導、搬送などの対応を実施

9 おおい町赤十字奉仕団による炊き出し訓練

(表紙写真)

福井県防災航空隊による防災ヘリ救助訓練



5



6



9



7



3

Interview ～訓練を終えて～



連携が何よりも大切

おおい消防団 団長
上山 長一さん (畑村)

今年から参集訓練や避難広報などに挑戦し、もっと上手いかわないところがたくさん出ると思いましたが、すんなりと終わることが出来ました。しかし実際の現場では、集まる人員数が事前に分かりませんし、場所、気象などの状況により訓練どおりいかないことが多々あります。そんなとき、何よりも大切になってくるのは住民の皆さんと団員、行政との連携です。今回の訓練を踏まえ、今後より多くの想定を図っていくことが必要です。団員の皆さんにはこれまで以上に連携を深め、まずは自分の身の安全確保を最優先し、住民の皆さんの生命・財産を守るため、迅速に活動していただきたいと思います。

いざというとき慌てず活動できるように

おおい町赤十字奉仕団 委員長
糞谷 里美さん (下)



町の総合防災訓練に参加するのは初めてでしたが、いざというとき、慌てず活動にあたるため、このような訓練を重ねていくことはとても大切なことだと感じました。訓練では、全員がてきぱきと役割をこなすことができましたが、災害の現場ではそうはいかないかもしれません。炊き出しでは、おにぎり、豚汁を作りましたが、災害は一日で収束するわけではありません。今後は他のメニューにも取り組む必要がありますね。災害が起きた際、少しでも住民の皆さんのお役に立てるよう団員みんなで連携をとっていきたいと思いました。

まずは町の避難所を確認！

| 施設名 | 所在地 |
|---------------|--------------|
| 川上公民館 | 川上 86-4 |
| ふるさと交流センター | 鹿野 42-27 |
| 佐分利小学校 | 鹿野 21-22-1 |
| やまびこ会館 | 万願寺 27-81 |
| 大飯中学校 | 野尻 57-1 |
| 本郷小学校 | 本郷 80-7 |
| 総合町民センター | 本郷 136-1-1 |
| 大島小学校 | 大島 60-6 |
| はまかぜ交流センター | 大島 90-27 |
| あみーシャン大飯 | 本郷 82-14 |
| 総合町民体育館 | 成和 2-1 |
| さきやま会館 | 名田庄三重 47-48 |
| 久田の里交流センター | 名田庄虫鹿野 3-5-1 |
| 名田庄小学校 | 名田庄小倉 6-1 |
| 名田庄中学校 | 名田庄小倉 2-9 |
| 名田庄体育館 | 名田庄小倉 5-24 |
| 里山文化交流センター | 名田庄久坂 3-21-1 |
| ふれあいぬくもりセンター | 名田庄下 78-2 |
| 流星館コンベンションホール | 名田庄納田終 120-8 |

災害に立ち向かう3つのキーワード

自助・共助・公助

災害が発生した際は、国や自治体の対応だけでは限界があり、早期に実効性のある対策をとることが難しい場合が想定されます。「自助」・「共助」・「公助」という3つの考え方から災害に立ち向かうために普段から何ができるのかを考えてみましょう。

非常持ち出し品を確認

- 持ち運びの便利なリュック
- 懐中電灯、携帯ラジオ
- 非常食、水
- 貴重品
- 救急医薬品
- ヘルメット（防災ずきん）
- 上着、下着、タオルなど
- ティッシュ
- ビニルシート
- 生理用品
- 紙おむつ、ほ乳瓶など

※非常持ち出し品は家族構成を考えて必要な分だけ用意し、避難時にすぐに取り出せる場所に保存しておきましょう。

【備える】

- 避難時に必要なものをあらかじめ準備し、リュックなどに詰め災害時に迅速に避難できるようにしておきましょう。
- 地震などに備えるため、事前に家具の転倒防止措置を図るなどして自分の身を守り、外へ出る逃げ道を確認しておきましょう。
- 避難所の場所と避難ルートを確認しておきましょう。
- 普段から家族でよく話し合い、災害時に何を備えておくべきか考えておきましょう。



自分と家族を守る

自助

災害に立ち向かうキーワード 1

防災の基本は、自分の命や家族の命をまずは自分で守ること。災害が起きるまでにできること、そして災害が起きたら何をすべきかを見直しておきましょう。

自主防災組織の設立を

町では、災害から地域社会を守り、町全体での防災力向上を図るため、行政区等で住民が自発的に結成・運営する自主防災組織に対し、組織の設立等にかかる費用を助成しています。

| 概要 | 金額 |
|----------------|----------|
| 組織の設立にかかる費用 | 上限 2 万円 |
| 防災資機材の整備にかかる費用 | 上限 10 万円 |

※ 助成は各組織 1 回限りとなります。



災害に立ち向かうキーワード 2

みんなで助け合う

共助

キョウジヨ

【備える】

- 災害時に助け合うために、地域の事業などに参加し、顔の見える付き合いを広げましょう。
- 「人命救助」や「初期消火」など、一人ではできないことも、地域住民が力を合わせれば早急に対処できます。自治会単位で結束して災害に立ち向かうため、自主防災組織を設立しましょう。

大規模災害時には、交通網の寸断などにより消防や警察などの防災機関が十分に対応できない場合があります。そのようなときは地域で助け合う事が不可欠です。日ごろから地区や近所の方々とコミュニケーションを大切にし、災害に備えましょう。

多様化する災害に備える

災害時等の生活物資等の供給協力に関する協定を締結（5月26日）



町では、災害時などに生活物資の供給を受ける協定を県民生活協同組合と結びました。協定は、災害発生時に町の要請に応じて県民生協から食料品や衣料品などを提供していただくという内容で、役場正庁で中塚町長と県民生協の竹生正人理事長が協定書に調印しました。

中塚町長は「近年多様化する災害の備えとして、緊急時に物資の供給を受けられることをとても心強く思います」と述べました。



災害に立ち向かうキーワード 3

行政の支援

公助

コウジヨ

【備える】

- 災害が起きる、また、起きるおそれがある場合は、町は災害対策本部を立ち上げ、被害情報の把握、避難勧告などの発令、救命救助などの災害対応を行います。
- 災害時に備え、非常食や毛布などを備蓄しています。
- 災害時には、防災行政無線や緊急速報メール、町ホームページなどを活用し、迅速かつ的確な災害情報などの提供に努めます。

災害時は、消防、警察、町などにより救助活動や支援物資の提供が行われます。ここでは、災害に備える町の取り組みを簡単にご紹介します。



地域のカルテ

名田庄診療所長 中村伸一

奄美大島での視察で知った 豪雨災害時の対応 その2

前号では、奄美市住用診療所の豪雨被害と危機管理について報告しました。住用診療所のように川に近いと、川の氾濫で大変なことになります。

名田庄診療所も川の近くですが、幸い、小高い丘の上に立っているので「水害でも大丈夫」と言いたいところです。ところが「実は大丈夫だろうか？」という疑問が、瀬戸内町を視察してわき上がってきました。

瀬戸内町は奄美大島の南端に位置し、奄美大島本島だけでなく、海峡を挟んだ有人三

島を有する町です。19床の有床診療所である瀬戸内町立へき地診療所は本島にあります。この三島へは巡回診療バスで医師が巡回診療しています。有床診療所と巡回診療を自治医科大学卒業の2人の医師で担っています。なかなか過酷な環境にあります。元気が頑張っていました。

さて、この診療所は川の近くではありません。ですが、すぐ後ろに裏山がある場所に建てられており、大雨のときには土砂崩れの危険性があるのです。そうです。名田庄診

療所と状況が似ているのです。平成23年11月2日午前8時のことです。朝の外来に備えて診察室で準備中、窓ガラスをガラガラと叩くような雨音とは違った音がかしました。異変を感じた看護師に促された2人の医師が慌てて診察室を脱出した瞬間、土砂崩れを起こした裏山の土が大量に診察室に流れ込んできたのです。まさに危機一髪！一歩間違えば、生き埋めになるところでした。

しかし、いつまでも腰を抜かしてはいられません。すぐ

さま外来と入院の患者の安全を確認しました。全員無事でしたが、第二弾の土砂崩れが襲ってくる危険があるため、17名の入院患者の受け入れ先探しと転送を地域住民、役場職員、自衛隊と協力して行い、何と被害発生3時間後の11時には入院患者全員の転院が完了していました。これだけでも驚異的なのに、まだまだ仕事は終わりません。診療所の外来機能をどこかに移転して行わなければなりません。裏山の反対側にある診療所の会議室を臨時の診察室にして、外来診療を続けたのです。それだけでなく、11月5日には三島への巡回診療も再開したのです。

普段から顔の見える関係だった地域住民、役場職員、医師会、ガス会社、電気工事会社など多くの方々の連携で乗り切ったそうです。この柔軟さ、臨機応変さ！なんとすばらしいことでしょう。

では、名田庄診療所の診察室や検査室はどうかと言つと：裏山からも国道からも離れていません。ということは、国道に面する土砂が崩れても裏山が崩れても大丈夫です。設計の時点から、私はその点を考慮していましたので。(ウソです。偶然です)ちょっと安心できますね。

こちら

介護老人保健施設

なごみ



施設のご相談はこちらへ

早川和宏
支援相談員



この4月から「介護老人保健施設なごみ」の支援相談員として勤務しています。

まだまだ分からないことや覚えなくてはならないことがたくさんありますが、一日も早く成長して、少しでも利用者さんや住民の皆さんのお力になれたらと考えております。どうぞ宜しくお願いします。

私が勤務する施設は、介護、医療的管理のもとで、介護認定を受けられた方の介護やリハビリ、必要な医療、日常生活のお世話をしているところで、通称「老健(ろうけん)」と呼ばれています。ここでは、利用者それぞれの能力に応じた日常生活が

送れるようなサービスを提供し、一日でも早く家庭に復帰できることを目指しております。

私は、主に入所を希望される方やそのご家族と面談し、入所に必要な情報などを提供しています。また、家庭に復帰される入所者の方々については、ご自宅での介護サービス等を計画する居宅介護支援専門員とも連携を図りながら、退所に至るまでのご支援を行っています。

おおい町の高齢化率は5月1日現在で28・3%と高い数字になっており、介護者を介護する方の高齢化が進んでいる現実も避けられません。高齢者の皆さんの「住み慣れた家庭での生活」の継続と「介護の負担」が少しでも軽減されるよう努めていきたいと考えております。

介護老人保健施設 なごみ

☎77・3184

※電話受付は、8時30分から17時までです。



みんな

熱中症を予防しよう！



暑い日が続き、全国各地で熱中症が急増しています。熱中症にかからないために、気温が高くなりそうな日はもちろん、日ごろから次のことに注意しましょう。



水分を補給しましょう



- のどが渇く前にこまめに摂る
- 外出時はもちろん、屋内に居るときもしっかり摂る

※アルコールは水分補給になりません。また、ジュースの飲み過ぎは糖の過剰摂取につながります。



暑さを上手に防ぎましょう



- 室内では室温をこまめに確認する
- 扇風機やエアコンで部屋の温度を調節する
- カーテンやすだれで光を遮る
- 外出時、日傘や帽子を利用する
- 通気性が良く、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する



疲れをしっかりとりましょう



- 暑い日は無理をせず、こまめに休憩をとる
- 睡眠をしっかりとり体を回復させる

涼しい時間帯に軽い運動を取り入れましょう

日ごろからウォーキングなど汗をかく習慣があると暑さに対抗しやすくなり、熱中症予防にもつながります。これからの時期、ラジオ体操もおススメです！

注意

子どもや高齢者は、より熱中症を発症しやすく、特に注意が必要です！

子どもが熱中症にかかりやすいのは

- ・ 体温を調節する力が十分に発達していない

- ・ 地面からの熱を感じやすい（身長が低いため）

高齢者が熱中症にかかりやすいのは

- ・ 暑さを感じにくい
- ・ 体温を調節する力が低下する
- ・ 体内の水分の量が減る
- ・ のどの渇きを感じにくくなる



問い合わせ？

お気軽にご相談ください

保健福祉センターなごみ内
地域包括支援センター ☎ 77・2770
あつとほ〜むいきいき館内
保健福祉室 ☎ 67・2000



自然とおしゃべりを堪能

今年、総合町民センターを出発地点とし、あみーシャン大飯、若州一滴文庫の2カ所のチェックポイントを通る全長6.2キロのコースで行われました。

ご家族連れの方々やスポーツ少年団の子どもたち、住民健診のPRをする町の保健師など約500人が参加。チェックポイントでは、町に関するクイズが出されたほかスーパー大火勢実行委員会が8月9日に開催される20回目の大火勢をPRしたり、民生委員児童委員が民生委員の活動を紹介する姿なども見られました。

参加者は、美しい町の自然と友人とのおしゃべりを楽しみながら元気に歩きました。(5月19日 本郷地区一円)



稲作の苦勞を学ぶ

佐分利小学校では毎年、米づくりの苦勞と収穫の喜びを学ぶため、全校児童が稲作体験を行っています。

農家の山本修さん(小車田)が所有する広さ約5アールの田んぼで、はじめに山本さんから田植えの注意点を教わった後、全員が裸足で田んぼに突入。苗を一つひとつ優しく手で植えていき、手持ちの苗がなくなると大きな声で追加の苗を求めています。

参加した若泉裕太くん(佐分利小3年)は「田んぼの中はひんやりして気持ち良かった。ドロドロになったけど頑張って植えました」と満足そうに話してくれました。(5月20日 小車田区)



青少年地域活動奨励賞を受賞



ジュニアリーダーとして熱心に活動に取り組んでおられるほか、小規模多機能ホームかんよもん(山田)施設利用者との交流に関する企画・運営を行うなどさまざまなボランティアに取り組んでおられることが評価され、角谷夏海さん(福谷)と櫻井優衣さん(南浦)が、福井県教育委員会表彰 青少年地域活動奨励賞を受賞されました。

二人は「これまでジュニアリーダーとして頑張ってきて本当に良かったです」と受賞の喜びを話してくれました。(5月24日 福井市 福井パレスホテル)

あすの福井県を創る運動功勞者賞を受賞



「(一社)あすの福井県を創る協会」の進める運動の推進に継続して貢献したことが評価され、江崎英二さん(三森)が知事表彰を、おおい音頭友の会が会長表彰を受賞しました。

江崎さんは、自宅小屋をふれあいサロンとして地域住民の交流に活用されているほか「みんなのまち協議会」で地域の環境美化に取り組まれ、住みよいまちづくり、人づくりに大きく貢献されています。

おおい音頭友の会は、イベントや老人福祉施設を定期的に慰問するなど踊りを通して輪を広げ、地域活性化を図り、踊りの保存・普及に努めておられます。

(5月21日 福井市 ユー・アイふくい)



4 おおい観光フレンズ認定式 4代目観光フレンズ決まる

4代目おおい観光フレンズに中村 彩香さん（久保・写真左）、森本 千晶さん（久坂・写真中）、上山 裕美里さん（畑村・写真右）が選ばれました。

平成28年3月末までの2年間が任期となり、その間主に県内外への出向宣伝やスーパー大火勢、浜開きなど町内のイベントに参加し、町のPRに努めます。

3人は「自然豊かな町に、一人でも多くの人に来ていただけるよう二年間頑張っていきたい」と抱負を語ってくれました。（5月27日 総合町民センター）



新しいクラスメート

本郷小学校にモルモットがやって来た
本郷小学校2年生33人がモルモットの飼育を始めました。命の大切さを学んでもらうため、県獣医師会の協力を得て同校にメスのモルモット1匹が贈られました。この日、到着したモルモットを目にして「かわいー、小さい！」とはしゃぐ子どもたち。「ごはんの量はどのくらい？」「名前は何にする？」など早くも新しいクラスメートのお世話にみんなが張り切っている様子でした。（6月3日 本郷小学校）



自然の役割をみんなで再認識

元気な森づくりや緑と花にあふれるふるさとづくりを目指し「緑はネ おいしい空気の コックさん」をテーマとした県民運動大会が盛大に開催されました。

開会式では、事前に募集された標語や図画コンクール入賞者などの表彰式が行われ、標語コンクールで徳生 杏音さん（本郷小5年）、図画コンクールで柿本 英里奈さん（佐分利小6年）がそれぞれ最優秀賞を受賞しました。

町内小中学生によるアトラクションや植樹式、花植えが行われたほか、講演会、体験ツアーなどさまざまな催しが行われました。

（6月1日 うみんぴあ大飯）



集会場をペイントしよう！ たくさんの思い出をありがとう

建て替えのため7月に取り壊される挙野集会場の壁面に、地元区民がありがとうの気持ちを込めてペイントを施しました。

久坂挙野子供会により企画されたこの行事には、大人から子どもまで大勢の区民が参加。色とりどりのペンキが塗られた集会場は、取り壊されるのが惜しく感じるくらいにカラフルに生まれかわっていました。

参加した区民の方は「何十年もお世話になった集会場が無くなるのがあまり信じられません。また、最後にたくさんの区民に思い出を与えてくれたことに本当に感謝しています」と少し寂しそうに話してくれました。（6月1日 挙野集会場）

大飯図書館・史料館

☎ 77-2820

布えほんサークル活動
8日,29日(火)
19:00～21:00
対象 一般、ボランティア
内容 布絵本作り

読み聞かせ講習会
13日(日)
14:30～15:30
講師 津田 さとみ氏
対象 一般
内容 本の紹介の仕方
(ブックトークについて)

読書会
20日(日)
10:00～11:30
対象 読書会会員、一般

郷土史料館 第6回「郷土の芸術・作家」展
7月26日(土)～9月7日(日)
入館料 無料

おはなし会
13日(日)
14:00～14:30
演じ手 図書館職員等
対象 小学校低学年児童
内容 絵本の読み聞かせ

ブックスタート
16日(水)
12:30～14:30
演じ手 図書館職員等
対象 6,7ヶ月児
場所 保健センターなごみ
内容 絵本の読み聞かせ

音楽とお話を楽しむ会
29日(火)
11:00～11:30
対象 0歳から4歳までの乳
幼児と保護者
内容 日本語と英語のお話・
手遊び歌で遊びます。

「おおいなる詩」作品募集

平成26年度おおい町民文化祭 テーマ「未来へ」

募集要項

- ・400文字以内の詩
- ・表現形式自由
- ・未発表の作品に限る
- ・応募数不問
- ・応募は封書にて1通につき1作品とする
- ・所定の応募用紙または原稿用紙を使用すること

応募資格 不問
応募締切 9月5日(金)
問合せ先 おおい町文化協会事務局 ☎ 77-1150

名田庄図書館

☎ 67-3703

ブランケットファミリー
6日(日)
10:00～11:30
内容 絵本の読み聞かせ、
工作など

布絵本の会
14日(月)
13:30～15:30
内容 布絵本作り

おはなし会おはなしのへや
20日(日)
15:00～(20分程度)
対象 3歳～小学校低学年
内容 絵本の読み聞かせ

読書会「源氏物語を読む会」
10日(木)
13:30～15:00

おはなし会おひざでだっこ
17日(木)
10:30～(20分程度)
対象 0～3歳児とその保護者
内容 絵本の読み聞かせ、手あ
そび、わらべうたなど

名田庄公民館

(里山文化交流センター) ☎ 67-3250

舞台実技講習会(初級)(全10回)
2日,16日,30日(水) 19:30～21:30
内容 2日 舞台音響について② 実習
16日 舞台音響について③ 実習
30日 舞台音響について④ 実習 ※申込必要

フラメンコ教室
10日,24日(木)
19:30～21:00
講師 石田 ちなみ氏

ひまわりらんど
18日(金)
10:40～17:00
※申込必要

中村正義ドキュメンタリー映画「父をめぐる旅」

20日(日) 13:00～
入館料 300円 定員 150名
場所 若州一滴文庫 ※予約必要

活動日記

巡回指導・あいさつ運動実施中

(おおい町青少年愛護センター大飯支部)

青少年愛護センター大飯支部では、補導員が毎月2回、JR若狹本郷駅前青少年の犯罪や非行を未然に防止することを目的に巡回指導・あいさつ運動を実施しています。

主に17時台の電車で帰ってくる高校生に声かけし、無事に帰っていくのを見守つ

ています。夏休みには、夜間パトロールも実施する予定です。

◆7月の予定

15日(火),30日(水) 17:00～17:30
(※他に8日(火)～10日(木)も県下一斉活動日のため実施します。)



生涯学習掲示板

7月

中央公民館

(総合町民センター) ☎ 77-1150

英会話教室

- ◆幼児コース 8日(火) 19:00～19:45
 - ◆児童コース 1日,15日(火) 19:00～19:45
 - ◆一般コース 1日,8日,15日(火) 20:00～21:00
- 講師 ジェイコブ・ルース氏、ジェイ・スワイスタル氏

ダンス教室

8日,22日(火)

19:00～20:00

講師 藤井 良子氏

対象 中学生以上

内容 いろいろな種類のダンス(初心者向け)

町を楽しむ会 定例会

16日(水)

19:30～

施設見学や史跡めぐりを通して、町のことを話し合います。

随時ご参加ください。

お母さんのセルフリンパマッサージと わらべうたベビーマッサージ

18日(金) 10:30～11:30

講師 後 麻美氏(ベビードانسインストラクター)

第3回ヨーガ教室

19日(土) 10:00～11:30

講師 小牧 理絵子氏

場所 あみーシャン大飯ふれあいホール

大島公民館

(はまかぜ交流センター) ☎ 77-3011

エアロビクス教室

3日,10日,17日,24日,

31日(木)

19:30～21:00

講師 一瀬 裕子氏

対象 一般

パッチワーク教室

15日(火),31日(木)

10:00～15:00

講師 中島 敦子氏

対象 一般

佐分利公民館

(ふるさと交流センター) ☎ 78-1211

おおいの温故知新教室

12日(土)

13:30～15:30

講師 藤田 義仁氏

内容 日本の歴史にみる暦の変化からひも解くおおい町

参加料 無料

女性の美と健康教室

13日(日)

13:30～15:30

講師 畑中 麻衣氏

内容 自分でするハンドケアとネイルアート

参加料 200円

定員 10名(事前申込必要)

※動きやすい服装でご参加ください。

デジカメ教室

13日,27日(日)

13:30～15:30

講師 猿橋 純氏

内容 写真撮影方法(応用編)

参加料 無料

※デジカメをお持ちください。

工作教室

(公民館職員と遊ぼう)

27日(日)

13:30～15:30

講師 こども家族館児童厚生員、公民館職員

対象 佐分利小学校児童

内容 くるくるパラシュートづくり

参加料 無料

天体観測

18日(金)

19:30～21:00

講師 中村 賢一氏

中塚 一成氏

内容 夏の星座と月の観察

参加料 無料

交通安全教室

30日(水)

14:00～15:30

講師 高齢者交通安全リーダー、

小浜警察署員他

内容 「安全な行動をするために」の講話など

バレーボール教室

1日,8日,15日(火)

19:30～21:00

対象 町内在住の4歳以上

～小学6年生

場所 本郷小学校体育館

参加料 100円(保険料を含む)

※未就学児は、原則親子で参加してください。

※申込必要

福井大学開放講座

「親子料理教室」

26日(土) 10:00～12:00

講師 佐藤 真実氏

(仁愛大学健康栄養学科)

対象 町内在住の親子(10組)

内容 カルシウムのお話とカルシウムたっぷり料理の調理

場所 総合町民センター

参加料 500円 ※申込必要

活動日記

サッカー教室

5月31日から2日間、総合運動公園球場でサッカー教室を開催しました。

幼児、小学生、中学生それぞれのレベルに合った練習や試合が行われました。

幼児の部では、初めての人工芝のピッチを体験する子どもたちもいて、親子で楽しめる一日となりました。

また、小学生、中学生の部では、いつも行っているスポーツ少年団や部活動とは違う練習を体験し、技術力の向上を目指し、がんばっていました。



伝統芸能や様々な体験活動をしてみませんか?

☎ 077077・1150

お知らせ

NEWS & INFORMATION

■おおい町役場

☎ 77-1111 (代)
(教育委員会事務局)
☎ 77-1150

■名田庄総合事務所

☎ 67-2222 (代)

■保健福祉センター「なごみ」

(なごみ保健課)
☎ 77-1155 (代)

■あっとほ〜むいきいき館

(保健福祉室)
☎ 67-2000 (代)

■iネットぴあプラザ

(電子情報課)
☎ 77-9030

町内交通事故発生状況 (平成26年5月31日現在)

| | |
|---------------------------------|-----|
| 人身 | 6件 |
| 死者 | 0人 |
| 傷者 | 9人 |
| 物損 | 60件 |
| 死亡事故 ^{ゼロ} 継続日数 653日 | |

人権相談

里山文化交流センター
7月16日(水) 13時~15時
日頃の悩みごと、いじめ、不登校、体罰、その他人権に関する相談に人権擁護委員が応じます。相談無料で秘密は固く守られますので安心ください。

リニューアルオープンしました!

福井県海浜自然センター

☎ 0770・46・1101



【所在地】若狭町世久見18-2
【開館時間】9:00~17:00
【入館料】無料

若狭湾と三方五湖の自然や生き物を大小35の水槽や迫力ある3D映像などでご紹介。

【人気コーナー】

●タッチプール…ドチザメ、マダコ、アメフラシ、ナマコなどの生物がいっぱい

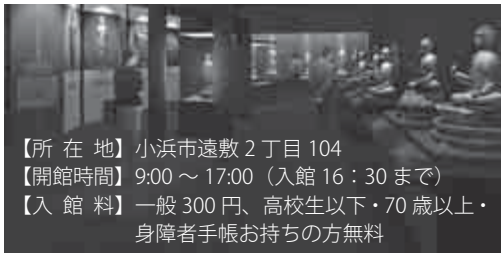
●ドクターフィッシュ足湯…
若狭湾の景色を眺めながら心地よい一時を



7月18日(金) 正午 リニューアルオープン

福井県立若狭歴史博物館

☎ 0770・56・0525



【所在地】小浜市遠敷2丁目104
【開館時間】9:00~17:00 (入館16:30まで)
【入館料】一般300円、高校生以下・70歳以上・身障者手帳をお持ちの方無料

若狭歴史民俗資料館が、若狭歴史博物館にリニューアルされることに伴い、7月18日から8月31日まで「仏教絵画の華」大型仏教絵画を一斉に特別公開。

【常設展内容】

- 重要文化財級の美しい仏像
- 華やかな若狭のまつり文化
- 解体新書等の貴重な資料

ポスターやキャッチフレーズ、標語を大募集



明るくきれいな選挙を呼びかけるポスターやキャッチフレーズ、標語を次のとおり募集します。

《内容》
明るい選挙を呼びかける内容で、自由に表現してください。
《応募資格等》

① 啓発ポスター

県内の小・中・高校生

9月12日(金)締め切り

② 啓発キャッチフレーズ・標語

県内にお住まいの方ならどなたでも

9月5日(金)締め切り

※応募方法など、詳しくは福井県選挙管理委員会のHP (<http://www.pref.fukui.jp/doc/senkan/index.html>) をご覧になるか、お問い合わせください。

問 おおい町選挙管理委員会

☎ 77・1111

フレンドリーアート号で美術館・博物館に行こう

福井県では、嶺南地域にお住まいの方を対象に嶺北の文化施設行きの送迎バスを運行しています。8月は、次のとおり運行します。多数のご参加をお待ちしております。

【とき】8月2日(土)

【行き先】ゴッホの原点「オランダ風景画展」ハーグ派の画家たち(県立美術館)・敦賀湊と三国湊(県立歴史博物館)

【乗車地】おおい町役場

【定員】先着45名(嶺南全域)

【申込】はがきまたはファックスで、住所・氏名・年齢(学年)・電話番号(FAX番号)・バス乗車日・乗車地を明記のうえ申込みください。

【参加料】無料(文化施設の観覧料は各自負担)

※詳しくはお問い合わせください。

問 福井県観光営業部文化振興課

☎ 0776・20・0580
FAX 0776・20・0661

サマー求人企業説明会

平成27年3月大学・短大・高等専修学校卒業予定者や高等学校卒業予定者とその家族等を対象に「サマー求人企業説明会」を次のとおり開催します。

【とき】7月12日(土)

13時30分~16時

【ところ】JA若狭会館3階大ホール(小浜市遠敷8の8の1)

【対象】

- ・大学・短大・高等専修学生卒業予定者
- ・高等学校卒業予定者とその保護者
- ・平成26年3月学校卒業・未就職者
- ・一般若年U・タータン就職希望者
- ・平成27年3月新規学卒者および学卒未就職者、一般若年U・タータン就職希望者を採用する予定のある求人事業所(38社予定)

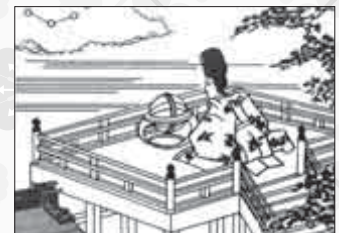
問 ハローワーク小浜

☎ 52・1260

みちしるべ

7月の運氣
(7月7日～8月6日まで)

| | |
|-------|--|
| ☆一白水星 | 明42生/大7生/昭2、11、20、29、38、47、56生/平2、11、20生 |
| ☆二黒土星 | 明41生/大6生/昭1、10、19、28、37、46、55生/平1、10、19生 |
| ☆三碧木星 | 明40生/大5、14生/昭9、18、27、36、45、54、63生/平9、18生 |
| ☆四緑木星 | 大4、13生/昭8、17、26、35、44、53、62生/平8、17生、26生 |
| ☆五黄土星 | 大3、12生/昭7、16、25、34、43、52、61生/平7、16生、25生 |
| ☆六白金星 | 大2、11生/昭6、15、24、33、42、51、60生/平6、15生、24生 |
| ☆七赤金星 | 大1、10生/昭5、14、23、32、41、50、59生/平5、14生、23生 |
| ☆八白土星 | 明44生/大9生/昭4、13、22、31、40、49、58生/平4、13、22生 |
| ☆九紫火星 | 明43生/大8生/昭3、12、21、30、39、48、57生/平3、12、21生 |



三碧木星
運氣は低迷状態で前途は不安定。俗に言う八方塞がりの月。変化変動も多く精神的にも落ち着かぬ。大事をとり確実な方策を考えるのが第一。

二黒土星
運氣は不安定で未だ好転の兆しは見えぬ。無闇に前進すれば見当違いの壁に突き当たる。盲進せず短慮を慎み、千里の道も一歩からと踏み出す事が肝要。

一白水星
運氣は引き続き安定しており継続事は進めてもよし。東方からの好機を逃さずガツチリと把握し前進への一歩とすること。他力本願は厳禁。

六白金星
運氣はやや渋滞の様相がある。諸事に障害もあり予定通りには進まぬ。今は控えめな行動がよい。従来の継続事を完成させる方がより得策。

五黄土星
運氣は未だ回復せず低迷を続けている。心ならずも齟齬から信用を失うことあり十分な注意を。諸事競争的な言動は極力避けるのが身のため。

四緑木星
運氣は好転し目的も徐々に達成に動いている。この機を逃さず大いに進んでよし。東からの兆しは甘言多く一考が必要。慌てず堅実な行動を。

九紫火星
運氣は引き続き上昇中。迷うことなく従来の方針で進むのが本道。多少は意に沿わぬ事もよくよせせず前進せよ。手もとゆえ見えぬ事も有る。

八白土星
運氣は今なお不安定な状態を続けている。常に逆境に立たされることで心身ともに緊張の連続ともなりそう。落ち着きを忘れず正道の一歩を。

七赤金星
運氣は衰運の域を脱することが出来ず願望も成り難い。障害も多く心迷もある。何事も控えめにし災禍に陥らぬよう運氣の転換を待つこと。

※立春が新しい年の第1日となるため、1月と2月上旬生まれは前の年の運氣とみまます。

～暦会館提供～



7月は「犯罪や非行を防ぎ社会を明るくする運動」の強調月間です。

その支えとなるのが町民の皆さまのチカラです。ご協力よろしくお願ひします。

社会を明るくする運動おい町推進委員会若狭地区保護司会

サマージャンボは県内の市町で購入を



問 (公財) 福井県市町振興協会
☎ 0776・57・1633

市町振興宝くじサマージャンボとサマージャンボミニの収益金は、市や町の明るく住み良いまちづくりに使われます。

【発売期間】
7月4日から25日まで
県内の市町にある宝くじ売り場で購入をお願いします。

あつとほ～むデッいきいきまつり

問 あつとほ～むいきいき館 ☎ 67・2000

いきいき館の職員と住民の皆さんでつくる手づくりの温かいイベントを今年も開催します。

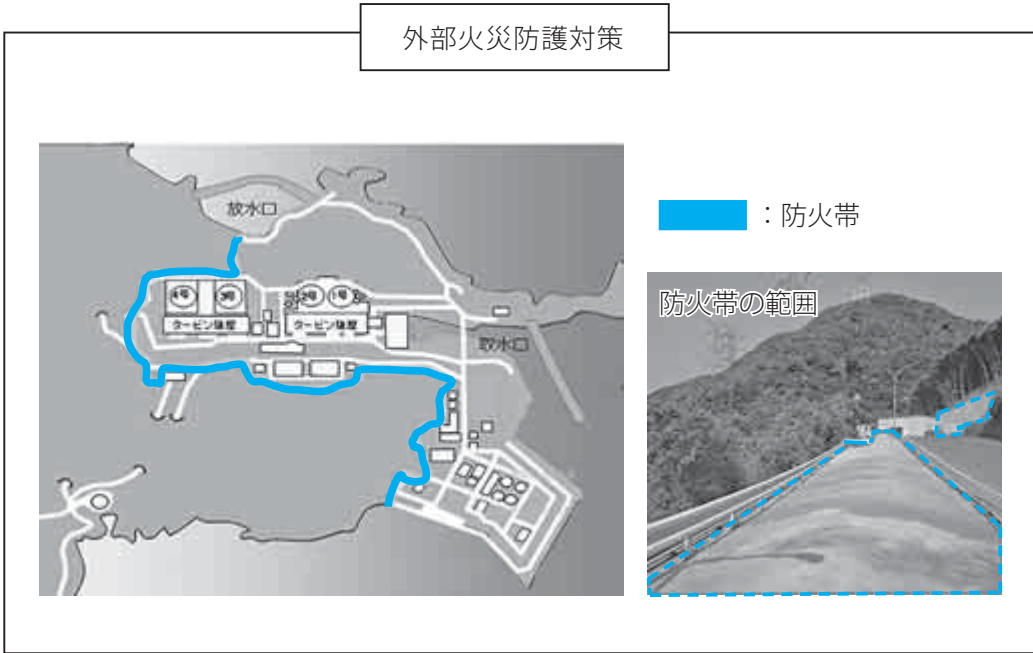


テーマ 「つなぐ～ふれあい～ささえあい」
と き 7月12日(土) 午後1時～午後4時30分
ところ あつとほ～むいきいき館
内 容 ■ 講演会「やさしいまち やさしい人」
講師：石井めぐみさん(女優)
内容：障害を持つ子を育てながら学んだ幸せの意味や家族のあり方、共に手を取り合って生きるまちづくり
■ 体験コーナー、バザー、展示コーナーなどもあります。

大飯発電所の火災防護対策について

大飯発電所では、外部火災防護対策として、発電所周辺で発生した森林火災が発電所設備に影響するのを防ぐため、発電所敷地外周の樹木を伐採し、幅 18 m の防火帯を確保しています。

また、内部火災防護対策としては、消火栓、消火器に加えて自動消火装置等を設置し、万が一火災が発生した場合でも重要機器が同時に機能を喪失しないように隔壁を設けてそれぞれの系統を分離するなどの対策を進めています。



発電所の運転状況

| 大飯発電所 | 出力 | 営業運転開始 | 発電電力量 | 発電日数 |
|-------|------------|--------------|---------------|---------|
| 1号機 | 117.5 万 KW | 昭和 54 年 3 月 | 2,217.3 億 kWh | 8,018 日 |
| 2号機 | 117.5 万 KW | 昭和 54 年 12 月 | 2,408.0 億 kWh | 8,645 日 |
| 3号機 | 118 万 KW | 平成 3 年 12 月 | 1,748.6 億 kWh | 6,186 日 |
| 4号機 | 118 万 KW | 平成 5 年 2 月 | 1,760.8 億 kWh | 6,201 日 |

| 平成 26 年 | |
|-------------|-----|
| 6 月 | 7 月 |
| 第 24 回定期検査中 | |
| 第 24 回定期検査中 | |
| 第 16 回定期検査中 | |
| 第 15 回定期検査中 | |

※発電電力量および日数は平成 26 年 5 月末日現在の数値です。

平成 26 年 5 月 13 日から
平成 26 年 6 月 9 日届出まで

赤ちゃん

| 名前 | 性別 | 保護者 | 住所 |
|----------------------|----|-------|-----|
| 小野 穂香 ^{ほのか} | 女 | 昇・加奈恵 | 13区 |
| 中官 芽依 ^{めい} | 女 | 亮行・菜緒 | 小堀 |

お誕生おめでとうございます。元気にすくすく育ってください。

たかさご

| 名前 | 住所 () は旧姓・旧住所 |
|---------|----------------|
| 福尾 卓也 | 万願寺 |
| (辻) 綾華 | (10の1区) |
| (的場) 満高 | (名田庄西谷) |
| 島田 朝美 | 名田庄三重 |
| 井本 健太 | 西村 |
| (山田) 紗希 | (小浜市) |
| 清水 庸行 | 川上 |
| (松崎) 潤 | (小浜市) |
| 時田 惇志 | 13区 |
| (橋本) 悠 | (鳥取県) |

ご結婚おめでとうございます。いつまでもお幸せに。

おくやみ

| 名前 | 年齢 | 性別 | 住所 |
|--------|-----|----|-------|
| 山崎 久美子 | 56歳 | 女 | 石山 |
| 中谷 かほる | 57歳 | 女 | 宮留 |
| 田中 則久 | 51歳 | 男 | 5区 |
| 川端 昶 | 82歳 | 男 | 名田庄三重 |
| 中川 弘之 | 77歳 | 男 | 福谷 |
| 一勢 倭文子 | 95歳 | 女 | 5区 |
| 前田 善男 | 71歳 | 男 | 名田庄三重 |
| 畠中 明 | 88歳 | 男 | 名田庄久坂 |
| 柿本 三好 | 90歳 | 男 | 笹谷 |
| 上本 圀雄 | 83歳 | 男 | 畑村 |
| 三宅 正重 | 94歳 | 女 | 12の1区 |
| 寺脇 道代 | 85歳 | 女 | 青戸 |
| 浦松 邦夫 | 74歳 | 男 | 野尻 |

ごめい福をお祈りします。

まちの人口

平成 26 年 6 月 1 日現在 () は前月比

| | | |
|-----|-------|-------|
| 総人口 | 8,660 | (-19) |
| 男 | 4,226 | (-11) |
| 女 | 4,434 | (-8) |
| 世帯数 | 3,216 | (-10) |

保健福祉センター「なごみ」

なごみ保健課 ☎ 77-1155 (代)

- 乳幼児健康診査 16日(水)
- すくすく広場 4日(金)
- 離乳食教室 29日(火)
- はぐはぐの会 15日(火)
- 住民健診
し〜まいる 10日(木)・23日(水)
総合町民センター 10日(木)
ふるさと交流センター 17日(木)
保健福祉センターなごみ 17日(木)・28日(月)
- 一般健康相談 毎週木曜日
- メンズキッチン 5日(土)
- 心の健康相談 30日(水)

あっとほ〜むいきいき館

保健福祉室 ☎ 67-2000

- すくすく広場 (奥名田児童センター) 11日(金)
- 住民健診
名田庄公民館 2日(水)
三重遺跡の里会館 2日(水)
美川集会場 7日(月)
あっとほ〜むいきいき館 7日(月)・23日(水)
- 一般健康相談 毎週木曜日
- ふれあいのつどい 16日(水)
- メンズキッチン 19日(土)
- 心の健康相談 30日(水)
- ミニデイケア 25日(金)

休日在宅当番医

- 6日(日) 和田診療所 13日(日) なごみ診療所
- 20日(日) 若狭高浜病院 21日(月) なごみ診療所
- 27日(日) 若狭高浜病院

休日救急医療機関

小浜病院



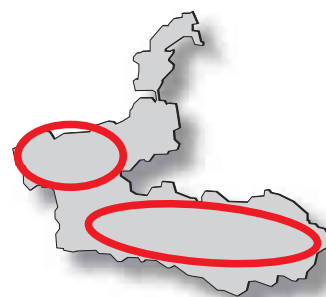
あっとほ〜むいきいき館
福祉バス運行表



- 納田終・井上・中地区 8日(火) 17日(木) 25日(金)
- 坂本・西谷地区 4日(金) 15日(火) 24日(木)
- 下久田・久坂・下地区 1日(火) 10日(木) 18日(金) 29日(火)
- 三重・小倉・美川地区 3日(木) 11日(金) 22日(火) 31日(木)

おいしいなる伝統

伝統料理編



地元の食文化には優れた先人の知恵や思いがぎっしり。食への関心をより高めていただくため、町の伝統料理をご紹介します！

ほお葉飯

おおい町佐分利地区、名田庄地区
問い合わせ先 農林水産振興課 ☎ 77-1111



堂勝竹乃さん
(名田庄下)

昔は6月上旬に田植えを行いました。田植えはお祝い事とされていたので赤飯を炊き、ちょうど旬の時期にとれる新しくしつかりしたほお葉を山から取ってきてほお葉飯を作りました。田植えの時期のごちそうで、田んぼのあぜで家族みんなで食べている光景がよく見られました。



【材料(8個分)】

- ほお葉 16枚
- 赤飯または白飯 4合分
- ごま塩 適量
- ほお葉を結ぶワラ

【作り方】

- ① ほお葉を十字に重ね、中央に赤飯(または白飯)を入れ、ごま塩をふりかけ包む
- ② ワラでしつかり結ぶ
- ③ 30分以上置く(葉が茶色になるまでほお葉の香りをご飯にしみ込ませる)

編集後記

▼6月上旬に役場で宿直し、翌朝起きて布団をたたんでみると小さく光るきれいな光を見つけました▼半分寝ぼけていたため、夢か現実かじつと見つめて考えながら現実と認識しこれは吉兆に違いないと思ひ、ぐつと顔を近づけるとそこには一匹の小さなホタルが▼「もうホタルの季節か」と時の流れの早さに驚きながら、まだホタルが住めるぐらい環境が良いのかなと思ひました▼ホタルの一生は短く成虫になつて地上に出るから1週間ほどしか生きられません▼その短い期間で精一杯光り輝き、見るものに大きな感動を与えてくれます▼「自分もいつかホタルのように輝けるようになりたい、今年はずホタルを見に行こう」そう感じたさわやかな朝でした▼今月号では、防災について特集しました▼町総合防災訓練を取材し、日ごろの備えが災害時の被害を軽減するためいかに大切かということを強く感じました▼近年多様化する災害への備えを今一度各ご家庭から見直し、いざというときに適切な行動をとっていただくことを願っております(なると)